

～～第8006回～～

唐松岳～五竜岳

～H28.9.2-4～

今回は静岡北3名、葵1名、磐田1名の男性3名・女性2名計5名の参加である。

一日目：早朝、静岡を出発し、9:00 白馬村で名古屋からの参加者と合流する。下山口の五竜遠見の駐車場に車1台を置いて、もう1台の車で八方ロープウェイ乗り場へ向かう。9:50 ロープウェイを乗り継いで観光客で賑わう八方山から八方尾根を登り始める。木道を進むと観光客で賑わう八方池だ。ここで昼食をとる。あいにく曇り・霧で展望が良くない。13:11 扇雪溪に着くが、ほとんど雪溪は残っていない。丸山ケルンを通り、15:00 唐松岳頂上山荘に着く。ザックを山荘に置いて片道30分の唐松岳山頂(2696.4m)へ。快晴の稜線の霧の中にブロッケンを見つける。山荘の男性部屋は本館に泊まる為の追加料金800円を払った為か、12人分のフトンに4人だけで空いている。17:50 夕食をとり、早めに就寝する。

二日目：早朝起きると一面霧。外気温8℃。5:00 朝食～6:15 山荘を出発し、五竜岳を目指す。霧が晴れて快晴となり劔岳、立山連峰の展望が素晴らしい。すぐに厳しい鎖場があり、緊張しながら慎重に通過する。イワツメクサやウスユキソウなどが咲いているが、だいぶ咲き終わりのシーズンだ。9:17 五竜山荘に着く。ザックを山荘に置いて五竜岳山頂に向かう。山頂まではかなり厳しい岩稜やガレ場が続いている。11:00 山頂(2814.1m)に着く。快晴の中で360度の大展望を楽しむ。鹿島槍ヶ岳に繋がるG4近くまで行くが、急な下りなので引き返す。途中でライチョウに会うことも出来て15:00 山荘に戻る。山荘はだんだん混んできて、我々の部屋は8人分のフトンに9人となるが、何とか寝るスペースを確保する。17:30 夕食をとり21:00 消灯。

三日目：夜明け、今日も快晴で雲海と赤く染まった五竜岳モルゲンロートが美しい。朝食をとり、5:25 山荘を出発して遠見尾根を下る。ウルップソウやチングルマなどの花も咲き終わりの時期で寂しい。尾根から遠く富士山を見ながら緩やかな下りで樹林帯に入っていく。西遠見山、大遠見山、中遠見山、小遠見山を通り、高山植物園をゆっくり見て10:30 アルプス平に到着。テレキャビン(ロープウェイ)で一気に下り、今回の登山を無事に終わる。台風11号が接近し天候が心配されたが、快晴に恵まれて素晴らしい後立山連峰の大展望を楽しむことが出来た。

山小屋情報：①「唐松岳頂上山荘」9,800円+別800円(本館代) 飲料水は有料、ペットボトル水：300円、歯磨き用の水：80円、コーヒー550円 ②「五竜山荘」9,800円、飲料水は無料、お湯150円/L

コースタイム:ロープウェイ乗場950…登山口1040…トイレ1123…第2ケルン1126…八方ケルン1132…八方池1145-1210…扇雪溪1311…丸山ケルン1348…唐松山荘1500…唐松岳山頂1530…唐松山荘1600-615…五竜山荘917-35…五竜岳山頂1100…五竜山荘1500-525…西遠見山651…大遠見山730…中遠見山815…小遠見山845…二ノ背髪900…一ノ

背髪 911…見返り坂 934…地藏の頭 954…アルプス平 1030

記録：磐田支部 M. N



五竜山荘前からモルゲンロートの五竜岳を望む



唐松岳頂上付近からの唐松岳頂上山荘



唐松岳頂上付近から唐松岳頂上山荘の間で現れたブロッケン現象